競 技 運 営 規 程

1　大会運営

本大会の運営は本規程による。

2　競技規則

競技規則は2017年度（社）日本ホッケー協会「ホッケー競技規則」による。

3　試合時間

試合時間は、前半10分・後半10分・計20分とし、前後半の間に2分の休息を置く。
だだし、小学生は前半7分30秒・後半7分30秒・計15分とし、前後半の間に5分の休息を置く。

前、後半終了間際に与えられたペナルティーコーナーは、上記時間が終了しても中止されることなく、そのペナルティーコーナーを完了するまで続けられる。規定時間の終了は従来と同じくジャッジ席のホーン信号によるが、ペナルティーコーナーの途中のプレーはそのまま続行される。ペナルティーコーナーが完了したときは、アンパイヤのホイッスルをもって規定時間プラスアルファの終了となる。

規定時間内に勝敗が決しない時は、下記SO（シュートアウト）戦にて勝敗を決する。

4　時間の管理

試合時間の管理はジャッジ席で管理する。

前、後半終了間際に与えられた、ペナルティーコーナー完遂のために試合時間が引き延ばされた時には、アンパイヤが前、後半の終了を示す責任をもつものとする。

5　シュートアウト戦（SO戦）

規定時間内に勝敗が決しない場合は、次に定める方法によりSO戦をを行い勝敗を決する。

（1）　両チームの主将は、自チームより3名のシューターと1名のゴールキーパーを指名する。
（選ばれる選手は、当該試合にエントリーされている者とする。）

（2）　両チーム主将のトスによって、先攻後攻を決める。その後3名ずつのシューターにより交互にシュートの攻防を一巡行い（計6本）得点の多いチームを勝者とする。

（3）　（2）の方法によって勝敗が決しない場合は、再度SO戦を「サドンデス方式」で行う。
最初、先攻のチームは後攻となる。（選手は途中プレーが不可能になった者をのぞき前回と同じメンバーで行う。ただし、順序は変更してもよい。）

6　選手の交代

（1）　選手の交代はジャッジ席の管理の下で、その試合にエントリーされた選手なら何時でも自由に交代することができる。ただし、ペナルティーコーナーが与えられている間は、出血等により退場を指示された選手に限り交代は認められるが、それ以外の選手の交代は認められない。

（2）　一度に交代できる選手の数は、無制限である。又どの選手でも何回でも交代することができる。

（3）　選手交代はジャッジ席前方のセンターライン付近で行う。

7　その他

本規程に定めのない事項については、本部の指示に従うものとする。